

相模女子大学日本学国際研究所と学ぶ・知る・考える vol.5

インバウンド時代の 英語との付き合い方

—観光現場から見える日本の言語コミュニケーションの未来—

講師 相模女子大学学芸学部英語文化コミュニケーション学科教授
相模女子大学日本学国際研究所副所長

宮本 節子



2025. **5.18.SUN** 14:00~15:30 (開場 13:40~)

紀伊國屋書店新宿本店 3階 アカデミック・ラウンジ

参加無料
入退場自由

事前に二次元コードよりお申込みをお願いいたします。
(お申込みなしのお客様も立ち見にてご参加いただけます。)



インバウンド時代の英語との付き合い方

—観光現場から見える日本の言語コミュニケーションの未来—

日本の観光現場での英語コミュニケーションは大きく変化しています。AI 翻訳やネット検索が日常の一部となり、また世界中から実に様々な目的や関心を持った方々が訪れる中で、実際にはどんなやりとりが行われているのでしょうか？国内のさまざまな観光スポットで起きている出来事を読み解こうと試みたところ、意外にも、「正しい英語」より「伝わる工夫」の方が大切だったり、身振り手振りが思いがけない効果を発揮したり…。当日は、そうした観光現場での発見をお話しします。これからの時代に求められる英語コミュニケーションの姿が、従来の英語教育とは少し違う形で見えてくるかもしれません。

講師

宮本 節子

相模女子大学学芸学部英語文化コミュニケーション学科教授
相模女子大学日本学国際研究所副所長



香川県出身。専門分野は英語教育。

主な著書に「観光ガイドの対応—体験共有を通じたホスピタリティ・コミュニケーションの展開」（共著、『ホスピタリティ・コミュニケーション—満足を生む観光人材になるための基礎知識』所収、晃洋書房、2025年）、「タイ英語学習のすすめ—観光コミュニケーションの考え方（共著、『観光言語を考える』所収、くろしお出版、2020年）などがある。

ホスピタリティ・コミュニケーション 満足を生む観光人材になるための基礎知識

<https://www.koyoshobo.co.jp/book/b658762.html>



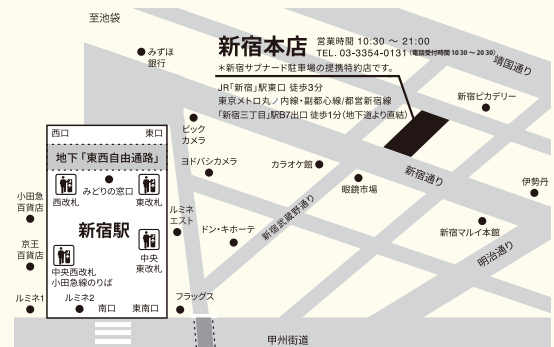
会場・アクセス

紀伊國屋書店新宿本店3階 アカデミック・ラウンジ

JR「新宿」駅 東口より 徒歩3分

地下鉄丸ノ内線・副都心線・都営新宿線

「新宿三丁目」駅 B7 出口より 徒歩1分（地下道より直結）



相模女子大学日本学国際研究所とは…

相模女子大学は、学術研究の拡充と活性化、さらにその成果を国内外に発信する拠点として、2024年4月に相模女子大学日本学国際研究所を開設しました。

本学には人文科学系・社会科学系・自然科学系の教員が在籍し、その研究領域も多岐にわたっており、幅広い研究が豊富に蓄積されています。異なる観点を持つ研究者を多く擁した本学ならではの特性を活かしながら、「日本」を海外からの視点を交えて見つめることで、日本研究の新たな意義を見つけ、国際的な研究を推進します。同時に、研究成果を世界にあまねく発信することによって、本学が注力してきた社会貢献活動にも寄与できると考えます。

世界の側に立った視点で日本を見つめ、日本の立場に立って見えない日本を見つける、本研究の成果にどうぞご期待ください。

相模女子大学日本学国際研究所 siijs@mail2.sagami-wu.ac.jp

相模女子大学 <https://www.sagami-wu.ac.jp/125th/>

研究所
HP



大学
HP

